

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	恩納村旅の案内人配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	観光案内所を運営する恩納村観光協会に対し、多言語の話せるスタッフを配置するための運営を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,424	5,111			
		(b) 予算現額	4,367	4,060			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 57	▲ 1,051			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計(b+d)	4,367	4,060			
	B. 執行済額		4,162	4,060			
	うち交付金充当額		3,330	3,247			
	次年度繰越額		—				
	執行率(%) (B/A)		95.3%	100.0%			
予算の状況の説明		バイリンガルスタッフ2名配置だが、1名だった期間が1月あり、その人件費分と需用費のパンフレット作成が執行できなかったため1,051千円を減額補正した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	案内スタッフ配置の支援	目標	(2人)	(案内スタッフ配置の支援)	()	()	
		実績	2人	案内スタッフ配置の支援実施			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	案内スタッフ募集にあたり、適切な人材の情報を提供した。また、案内スタッフが一身上の都合で退職してしまい、その間観光協会職員で案内業務を対応した。トラブルがあったものの、適正に対処できており、概ね達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	観光情報案内人数:6,000人 (恩納村文化情報センター利用者目標人数:60,000人/年の10%)	目標	()	(3,000人)	(6,000人)	()	()
		実績		8,697人	8,958人		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	恩納村文化情報センター観光フロアに2名のバイリンガルスタッフを配置し、平成28年度は国内7,627人、英語圏340人、中国語圏816人、韓国語圏95人、その他80人、合計8,958人の来場者があった。「丁寧な説明で嬉しかった」という利用者からの声もあり、旬な観光情報を発信することができた。また、パンフレット作成については、平成29年度作成予定である。					

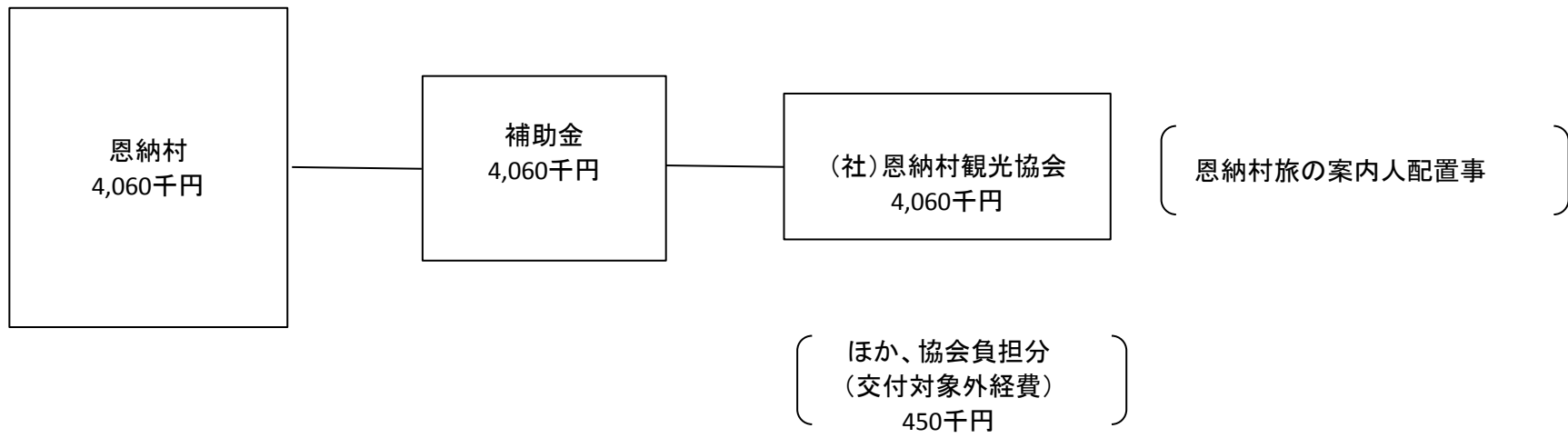
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 案内スタッフが一人しか確保できなかった時期があり、急きょ観光協会職員で対応(1か月間)する期間が発生した。観光協会職員は別の業務を担っており、専従で案内スタッフとして従事することができず、窓口対応業務に支障が生じた。 案内スタッフは恩納村観光協会により配置しているが、案内スタッフ採用時の面接や採用条件等において対応を強化する必要がある。 恩納村内のみならず、近隣市町村の情報提供等の要望があり、案内スタッフが情報収集し対応した。 事業活動においては、バイリンガルスタッフの配置により、国外観光客から好評であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 通年スタッフの配置が必須であるため、スタッフの雇用について、採用条件等を強化する必要がある。 併設する文化情報センターや「おんなの駅」への利用者及び観光事業所等への周知等を行い観光案内所のさらなる有効活用を図る。 近隣市町村のパンフレット等の収集やスタッフの観光情報王ののスキルアップを図ることで、近隣市町村への観光推進ができる。

今後の取り組み方針

- ・村ホームページ等で文化情報センター観光案内フロアの周知を強化し、観光協会と連携して、観光案内フロア内の配置を利用しやすいよう改善していく。
- ・地域に密着した最新の情報を提供できるよう継続して情報収集を行い最新の観光パンフレットを作成する。
- ・文化情報センターまでの路線バス等アクセス情報をマップやパンフレットを作成し、周知していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,510	4,060	3,247	813	450



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村の観光振興を担う団体として、村の施策として観光協会を設立した。その観光協会以外に支出先はない。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算については、観光協会給与規則に準じて積算しており、適正な規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○公共性・公益性が高い事業として、県と調整した上で観光協会が10%を負担すると決定しており、妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については案内スタッフの person 費、パンフレット作成が主であり、恩納村・中部・北部を連携した観光案内業務に即し真に必要なものである。

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	恩納村美ら海花火大会事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27年度～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	閑散期に恩納村を訪れている観光客等に対し、恩納村の観光資源である海浜等において大花火大会を実施し、恩納村の魅力を発信することにより観光振興を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,994	10,878			
		(b) 予算現額	7,290	8,124			
		(c) 増減額(b-a)	296	▲2,754			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計(b+d)	7,290	8,124			
		B. 執行済額	7,287	8,121			
		うち交付金充当額	5,830	6,496			
		次年度繰越額	—				
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			
	予算の状況の説明	本事業は複数の事業から構成されているため、各事業で入札を実施した結果、入札残の積み上げ、2,754千円を減額補正した。また当初計画通り閑散期の10月に事業をすべて実施できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	・美ら海花火大会の開催	目標	(花火大会の開催)	(花火大会の開催)			
		実績	花火大会の開催実施	花火大会の開催実施			
	・シャトルバスの借用	目標	(10台)	(10台)			
		実績	14台	10台			
	・PRチラシの作成	目標	(35,000枚)	(40,000枚)			
		実績	35,000枚	20,000枚			
	・警備員の配置	目標	(警備員の配置)	(警備員の配置)			
		実績	警備員の配置の実施	警備員の配置の実施			
達成状況説明	PRチラシの作成については当初目標40,000枚(A4サイズ)からチラシ20,000枚(A4サイズ)及びポスター150枚(A2サイズ)へ周知方法を変更したが、集会所や事業所等へのポスターの掲示により当初目標以上の周知効果は達成できたと考えている。また大会当日は交通渋滞の解消及び交通整理として、シャトルバス及び警備員を予定どおり配置できたことにより、混雑解消及び交通安全対策が図られ、目標は達成できた。						
	H28成果目標(指標)	基準値(26年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	

成果目標 (指標) 及び進捗状況	美ら海花火大会来場者数	目標	()	(—)	(10,000人)	()	()
		実績			10,000人	10,000人	
	【参考指標】 うんなまつり来場者数	目標	(15,100人)	(16,600人)	(16,600人)	()	()
		実績			17000人	21838人	
進捗状況説明	計画していた予定日に花火大会を実施することができたことで、当日は村内リゾートホテルへの宿泊者をはじめ、村内外から多くの来場者が訪れた。達成状況については、主会場への来場者数のほか周辺ホテルや漁港内また沿道等とあらゆる場所からの観覧があり、来場者数については概数でしか推測することができなかったが、周辺事業等(ホテル、飲食店)からの聞き取り及びシャトルバスの利用者の総数からおよそ12,000人の来場があったと推測しており、目標は達成できたと考えている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・花火大会を開催することで、村内ホテルや飲食店に新たな経済効果があった。また、会場での花火観覧サービスや主会場周辺における花火大会特別メニューなどが提供され、新たな事業を創出した。交通渋滞については、臨時駐車場からのシャトルバスの増便や路肩にカラーコーンを設置し、路上駐車を防止することができ、解消された。</p> <p>・本大会時には村内外から多くの観光客が訪れ、村内観光ホテルや飲食店等事業所への経済効果は大であり、地域活性化へ貢献しているため、今後も継続事業として実施が求められる。</p>	<p>恩納村の新たなイベントとして村内外に定着しつつあり、他のイベント等と日程が重ならないよう調整が必要である。メイン会場の移転を検討し、花火が観覧できる範囲を広げることで、村内へ更なる集客を図り、ホテルや周辺地域への経済効果の向上を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・恩納村の閑散期のイベントとして、10月頃に開催し、平成29年度以降も継続して実施する。</p> <p>・会場周辺の駐車場の確保、交通渋滞の解消のための措置を講じる。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	8,121	8,121	6,496	1,625	0
恩納村 8,121千円	委託料 6,941千円	(有)サウスエリア 5,909千円	(煙火業務)		
		(株)南日本警備 432千円	(警備業務)		
		ときたま、ティダカンパニー、平義隆、プロシロ 200千円	(イベント出演)		
		((有)アリアボイスネットワーク) 400千円	(音響)		
	使用料及び賃借料 728千円	(株)朝日観光 644千円	(シャトルバス借り上げ料)		
		(有)ミナミ 84千円	(灯光器賃貸料)		
	役務費 304千円	三井住友海上 155千円	(大会保険料)		
		(株)日本広告 149千円	(沖縄タイムス・琉球新報広告料)		
	需用費 148千円	(有)巴印刷 148千円	(チラシ20,000枚・ポスター300枚印刷費)		

資金の 使途の 流れ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○主要委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△発注前の審査により委託料が減額したこと及び、複数の入札残により、2,754千円の不用額が生じた。今後の予算計上に際しては詳細な内訳による見積を徴する必要がある。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部課名	村民課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	外来種の台湾ハブや台湾スジオが観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道(歴史の道)周辺での散策者への咬症事故が予測されるため、その周辺を重点区域とし積極的に駆除する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,063	5,000	4,877	5,865	5,858
		(b) 予算現額	4,043	5,000	4,902	5,662	5,683
		(c) 増減額(b-a)	▲20	0	25	▲203	▲175
		(d) 繰越額	—				
		A. 計(b+d)	4,043	5,000	4,902	5,662	5,683
	B. 執行済額		4,032	4,811	4,902	5,617	5,385
	うち交付金充当額		2,438	3,848	3,921	4,494	4,308
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.7%	96.2%	100.0%	99.2%	94.8%
予算の状況の説明		ハブ収入売上(交付対象外経費)と不用額により175千円の予算減額となった。予算減額と執行済額の差額が298千円あるものの当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数	目標	(400箇所)	(400箇所)	(400箇所)	(400箇所)	
		実績	420箇所	450箇所	450箇所	450箇所	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・観光地周辺を中心に、村内南部の台湾ハブや台湾スジオの生息地にハブトラップ(罟)を設置して捕獲した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	台湾ハブ捕獲数	目標	()	(180匹)	(180匹)	(150匹)	()
		実績		165匹	114匹	212匹	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・平成27年度は、カラスによる悪戯(捕獲器が開けられてマウスが逃げてしまいハブが入らない)があり捕獲数の目標を達成することができなかったが、カラス対策を行うことにより、捕獲数の目標を達成することができた。					

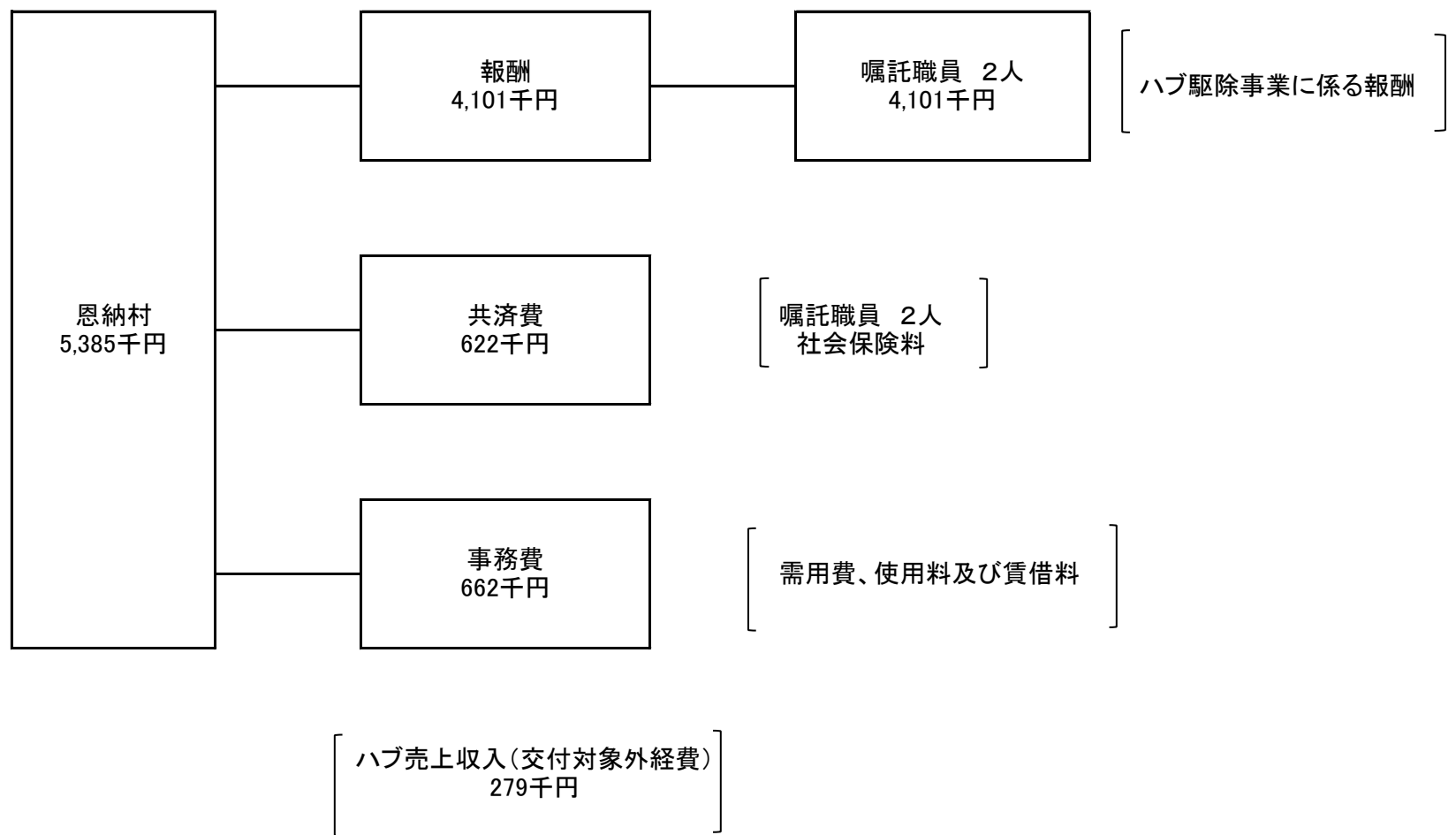
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度の捕獲数は114匹だったが、平成28年度は212匹のタイワンハブを捕獲している。 事業当初は、捕獲数が少なかった地域での捕獲が増加している。 ハブ捕獲器の入口(ロート)の改良により、小さい子どものハブも捕獲器に入るようになった。 ハブ生息地と非生息地の境界でのハブ捕獲数は少ないが、生息地拡大が予測される。平成28年度まで設置していなかった、仲泊地域と前兼久地域へのハブ捕獲器設置をし、調査する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 宇加地地域での捕獲数が年々増加しているため、重点区域とし駆除を行う必要がある。 ハブ捕獲器の入口(ロート)を改良することにより、小さい子どものハブも捕獲器に入るようになった。他の捕獲器も改良して大きくなる前に捕獲し、ハブの生息数を減少させる。 新しい地域に捕獲器設置を行い調査し、ハブ生息地拡大を防ぐ。

今後の取り組み方針

- ・タイワンハブ捕獲数は増加しているため、引き続き駆除事業を継続的に実施し、ハブ生息地拡大を防止する。
- ・宇加地地域を重点区域とし、捕獲器を増加する。
- ・ハブ捕獲器の入口(ロート)の改良。
- ・仲泊地域と前兼久地域に捕獲器設置を行い調査する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,664	5,385	4,308	1,077	279



資金の流 れ、費 目 ・ 費 目 ・ 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○嘱託職員の採用方法について、村の規定に準じ採用した。また、特殊事業のため経験者を採用した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費用については、見積入札や村の規定に準じているため適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については事業目的の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	「谷茶前の浜」整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成27~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	恩納村を代表する沖縄民謡「谷茶前節」で知られる「谷茶前の浜」周辺を恩納村の文化の発信に寄与する観光地として整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		61,529	64,628			
			19,971	54,964			
			▲ 41,558	▲ 9,664			
			0	0			
			19,971	54,964			
		B. 執行済額	19,494	54,950			
		うち交付金充当額	15,595	43,960			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	97.6%	100.0%			
	予算の状況の説明	設計内容の確定により施工管理にかかる日数が減となったことに加え、入札の結果、谷茶前の浜駐車場及び石碑整備工事の契約額が積算よりも減となったことから、不用となる委託料4,925千円、工事請負費4,739千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	駐車場等の用地購入の完了	目標	(778㎡)	()	()	()	
		実績	278.97㎡				
	H28駐車場及び石碑建立工事にに向けた実施設計の完成	目標	(実施設計の実施)	()	()	()	
		実績	実施設計の実施				
	メロディーロード整備工事	目標	(412m)	()	()	()	
		実績	0m				
	駐車場及び石碑整備工事	目標	()	(691㎡)	()	()	
		実績		738.1㎡			
達成状況説明	工事实施の段階で潮流による擁壁基礎の洗掘防止対策として根固工が追加となったが、工期内に駐車場及び石碑整備工事を実施し完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	駐車場等の用地購入の完了	目標	()	(用地購入の完了)	()	()	()
		実績		用地購入の完了			
	H28駐車場及び石碑建立工事にに向けた実施設計の完成	目標	()	(実施設計の完成)	()	()	()
		実績		実施設計の完成			
	新たな観光スポットの形成	目標	()	(新たな観光スポットの形成)	()	()	()
		実績		新たな観光スポットの形成準備			
	駐車場及び石碑整備工事の完了	目標	()	()	(駐車場及び石碑整備工事の完了)	()	()
		実績			工事完了		
	進捗状況説明	H27年度に実施した設計を基に、H28年度は駐車場及び石碑の整備を実施した。安心、安全で魅力ある新たな観光スポットとして、本村並びに沖縄県の観光振興を図る。					

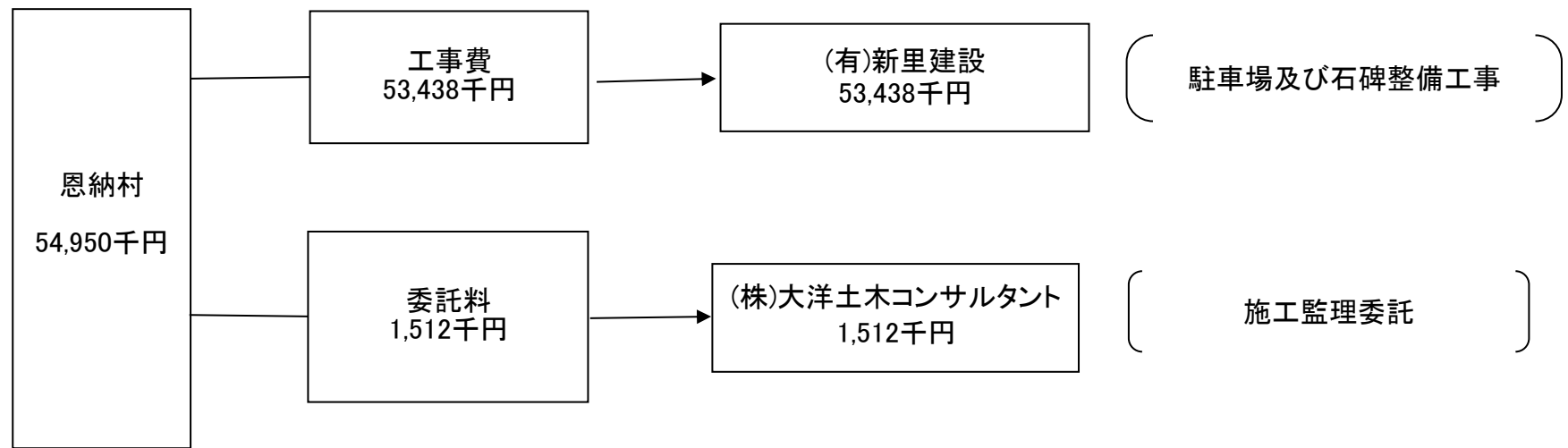
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	県内外で知られている民謡「谷茶前節」は沖縄の琉球舞踊でも数多く上演されているが、谷茶前の浜がどこに存在するかしられていないため、観光客へ周知する必要がある。「谷茶前節」の曲とともに今でも美しい谷茶前の浜のロケーションを観光スポットとして整備することにより、観光客の入客増が期待される。	村及び地元谷茶区並びに観光協会等、村全体で「谷茶前節(浜)」を周知する必要がある。 訪れた人たちが、また、来たいと思える魅力ある観光地の維持に努める。 公園を効果的に活用するような管理。
	設計時に各関係者と協議や同様の施設の例により、防犯対策の必要性や「谷茶前節」の効果的な周知方法を検証し、安心、安全な観光スポットとして活用できるよう、防犯灯や防犯カメラを設置し、「谷茶前節」の音声案内機能を加えた施設整備に取り組んだ。	
	同地区では、村関係団体による「景観モデルづくり」として取り組みが行われ、今後更なる集客が見込まれる。 駐車場及び石碑の整備が完了したことから、今後は、谷茶前節(浜)を周知することと景観維持のために公園及び浜の清掃・管理が必要と考える。	

今後の取り組み方針

駐車場及び石碑整備は、当初の計画に安心安全や周知に関する整備を加え完了した。村及び関係機関のホームページに掲載し周知を図るほか、今後は景観維持のために「谷茶前の浜」の清掃活動に努めるとともに、効率的な管理や活用ができるよう谷茶区に管理を委託する。
引き続き、周知の方法を探るほか、新たな取り組みについても検証し、新たな観光スポットとしての形成を図ることに努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
54,950	54,950	43,960	10,990	0

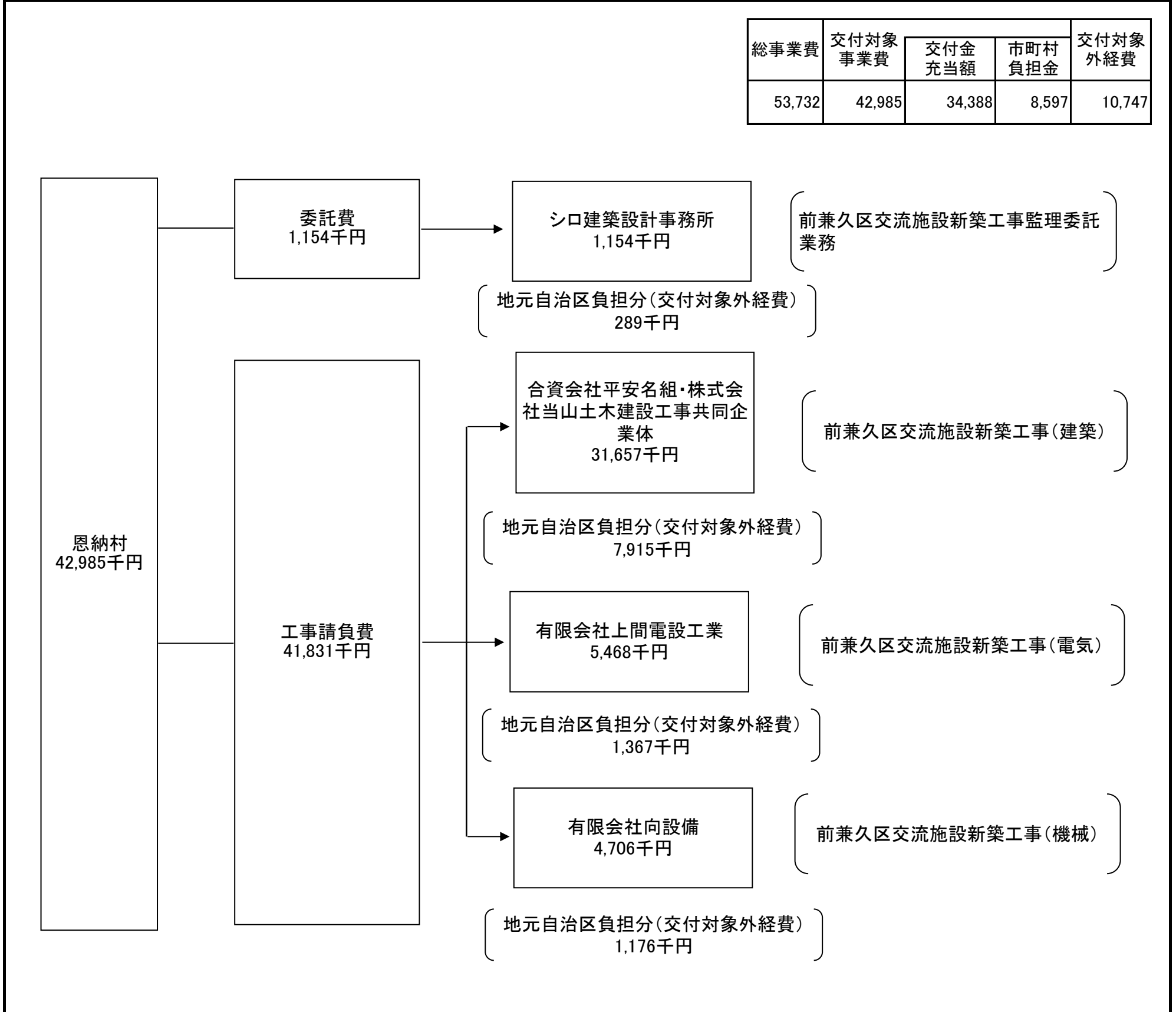


資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事及び委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○設計内容の確定による予算規模の縮小や入札残による多額の不用額が生じた。予算段階での精査が不足していたといえる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	前兼久区交流施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成27~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	前兼久区において、ハーリー等の伝統行事を通じた観光客との交流・体験学習を実施し、伝統芸能継承、各種団体活動などの多様な活動を推進するため、交流施設を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	89,600	44,000			
		(b) 予算現額	182,000	42,985			
		(c) 増減額(b-a)	92,400	▲ 1,015			
		(d) 繰越額	—	—			
	A. 計(b+d)		182,000	42,985			
	B. 執行済額		182,000	42,985			
	うち交付金充当額		145,600	34,388			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		平成27年度に引き続き事業を実施した。当初、機械工事で設置した浄化槽との周辺すり合わせで、建築工事の外構工事の高さ等を変更する予定だったが、現場との調整により変更が不要となったため1,015千円を減額したが、当初予定していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	交流施設整備工事全体の80%の実施	目標	(出来高80%)	()	()	()	
		実績	出来高80%				
	交流施設整備工事の実施	目標	()	(工事の実施)	()	()	
		実績		工事の実施			
達成状況説明	交流施設整備工事について、平成28年度で実施した工事は予定どおり工期限内に完成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	交流施設整備工事全体の80%の完了	目標	()	(全体の80%)	()	()	()
		実績		全体の80%			
	交流施設整備工事の完了	目標	()	()	(工事の完了)	()	()
		実績			工事の完了		
	ハーリー開催時における施設利用人数	目標	()	()	(330人)	()	()
実績				435人			
進捗状況説明	交流施設整備工事について、平成28年度で実施した工事は予定どおり工期限内に完成した。早期に完了したことにより最も大きな伝統行事であるハーリー(海神祭)で活用され、効果的な運営ができた。ハーリー開催時における施設利用人数は、435人と目標人数を上回った。ハーリー入場者約2,000人の2~3割がトイレや休憩所として利用しており、また、提供する料理の準備・調理・仕出し等においても効果的に活用された。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>平成28年4月末の完了により、平成28年度のハーリー(海神祭)においても施設が活用され、効果的な運営ができた。</p> <p>各種団体における利活用やハーリー舟を活用した観光客との交流・体験学習等が実施されている。</p>	<p>予定どおり工期内に完了したにより、平成28年度のハーリー(海神祭)で活用され、各種団体活動等も活発に行われているため、更なる活用が望まれる。</p> <p>ハーリー(海神祭)終了後においても、観光客等との交流・体験学習事業等を実施し、新たなメニューづくりに取り組む必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>伝統芸能を絶やさないう、世代間交流による各種団体活動を促進する。</p> <p>ハーリー等の伝統行事を活用した観光客との交流・体験学習事業等のメニューに観光協会等と連携して取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○工事、委託業者は指名競争入札で選定しており妥当であった。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○外構工事の高さ等を変更する予定があったため設計変更を含んだ予算としていたが、現場との調整により設計変更が生じなかったため予算を減額した。業者との調整によるものであり、事業費は概ね適正な規模であったと考える。
	○		受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である地元自治区は総事業費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	恩納村観光振興計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	本村のリーディング産業である観光産業の継続的な発展及び地域活性化を推進するため、村の観光振興の基本となる観光振興計画を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,908				
		(b) 予算現額	8,856				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,052				
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	8,856				
	B. 執行済額		8,771				
	うち交付金充当額		7,016				
	次年度繰越額		—				
	執行率 (%) (B/A)		99.0%				
予算の状況の説明		設計額の精査及び入札残により当初予算額より2,052千円の減額が生じた。また恩納村観光審議会委員の出席回数減により△85千円の改定契約を行ったが、当初計画通り計画を策定することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	観光振興計画の策定	目標	(観光振興計画の策定)	()	()	()	
		実績	観光振興計画の策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	観光振興計画を作成するにあたり、観光客ニーズの多様化に因るため、22名の恩納村内観光関連施設の関係者、事業者、役場関係職員で、ワークショップの開催や村内宿泊施設へのアンケート調査及びインターネット調査を行った。その結果を踏まえ12人の有識者からなる観光審議会により、恩納村観光の現状と課題、観光振興計画の将来像と方策について、今後、10年間の基本計画を策定することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	観光振興計画の策定完了	目標	()	(観光振興計画の策定完了)	()	()	()
		実績		観光振興計画の策定完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	観光振興計画の策定については、年度内に完了することができた。平成29年度より本計画を指針とした観光振興事業の取り組みを推進していく。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
-------------------------	----------------------

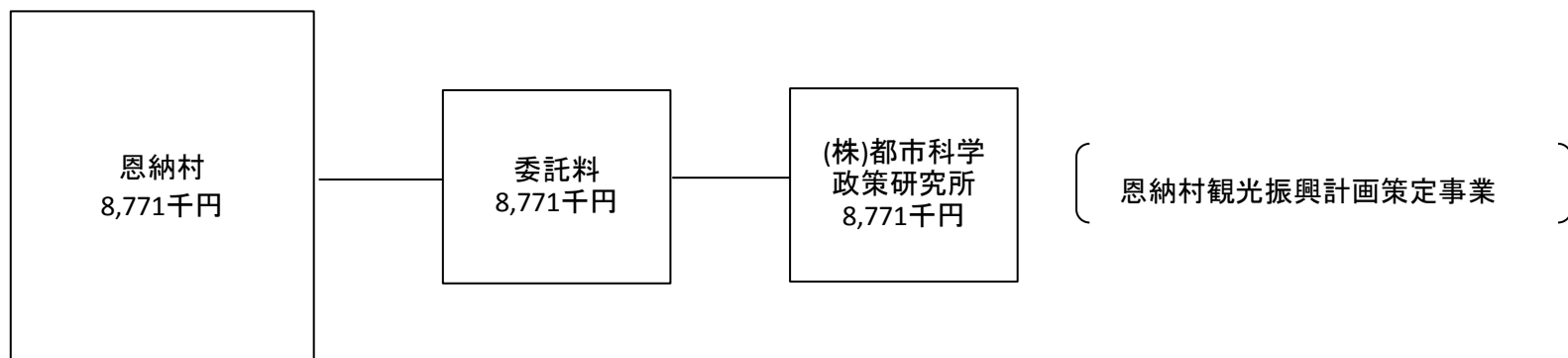
取組の検証	<p>観光振興に向けた課題の整理として、美しい自然及びリゾート地域にふさわしい景観の形成・交通環境の整備があげられ、海岸での漂着ゴミや道路の植栽マスの雑草、観光関連施設周辺でのポイ捨て等の対応が課題となっている。</p> <p>観光資源からの課題としては、一次産業との連携による村民所得の向上、地域資源を活用した特産品及び体験メニュー開発があげられる。今後理解の必要性、今後求められる沖縄観光からの課題については、観光を担う人材の確保・育成においては、村内在住者にとっての働きがいのあり職場として認識してもらえるよう業務内容の周知及び見直しを図りより魅力ある職場条件や労働条件の整備を行う必要がある。</p>	<p>計画策定後において、地域・行政関係観光事業所の連携が強化された。本村のリーディング産業である観光産業の継続的な発展及び地域活性化を推進するため、村の観光の基本となる観光振興計画を遂行していく。ふさわしい景観の形成においては維持管理を行うための財源確保。交通環境の整備については、利便性の高い周遊バスの導入等による交通体系の構築。</p> <p>村民の所得向上においては、観光関連施設での地産地消を進めるなど、恩納村の農林水産物の利用率の向上を図る。体験メニュー開発においては、伝統芸能やハーリーの観光メニュー化による工夫。観光に対する理解の必要性については、観光について多角的な視点で学ぶことができる機会を創出していく。</p>
--------------	--	---

今後の取り組み方針

今後の取り組み方針としては、豊かな地域資源を活かした特産品の開発や恩納ブランドの創出、多様化する旅行者ニーズに即したニューツーリズムの推進や、核関連産業との連携強化を図り、地域産業の活性化につなげていく。観光客に安全・安心に過ごしてもらえるよう市場のグローバル化への対応を行うと共に観光インフラの整備やユニバーサルデザインの推進観光交流拠点づくりに取り組む、観光PRの強化及び人材育成において、文化情報センターや博物館、インターネット、観光案内冊子、電子看板の活用、多様な情報媒体を活用した情報発信を図るとともに、旅行博等への出展や観光大使のプロモーション活動の強化について取り組む。観光協会等による観光観光推進体制の充実を図ると共に、観光産業に関わる人材の育成、自らの地域について学ぶふるさと学習や村民を対象とした観光について学ぶ場の提供を行い村民の「うといむち(おもてなし)」の心の醸成に取り組む村民が一体となった観光振興を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,771	8,771	7,016	1,755	0



資金の流 点検、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△業務料の精査等により2,052千円の不用額が生じた、今後詳細な内訳による見積りや積算により適正な予算計上に努める。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	恩納村情報発信事業	事業実施(予定)年度	平成28年度	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-3-(2)-(ウ) 観光客の受入体制の整備		
担当部署名	総務課				沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	防災・観光等の情報を国内外に発信するため、多言語対応やアクセシビリティに配慮したシステムを構築し、HPの機能強化を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	(a) 当初予算額	27,297				
		(b) 予算現額	27,297				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	27,297				
	B. 執行済額	26,190					
	うち交付金充当額	20,952					
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	95.9%					
予算の状況の説明	業者選定方法を、プロポーザル方式にて行い、選定結果により契約額の減となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	ホームページのシステム構築	目標	(システム構築)	()	()	()	()
		実績	システム構築完成				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	防災・観光サイトを構築し、多言語、翻訳を対応させた。さらにウェブアクセシビリティ適用規格JIS X 8341-3:2016(ISO/IEC 40500:2012) 適合レベルAAを取得。ホームページシステムが完成し、平成29年4月1日(土)に公開。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	ホームページのシステム完成	目標	()	(システム完成)	()	()	()
		実績		システム完成			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	ホームページシステムが完成し、平成29年4月1日(土)に公開。観光サイトや、防災サイト、アクセス数把握機能を構築、掲載作業の簡素化を行うことができ、知識がなくても各課担当者が迅速に情報更新を行うことが可能となった。					

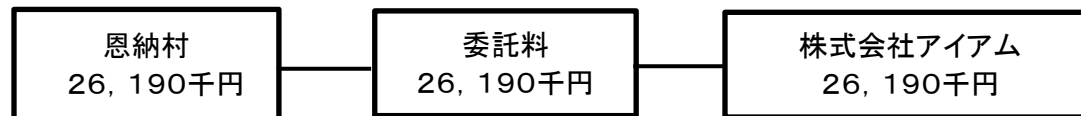
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	防災・観光サイトのサイトを構築したが、時間の経過と共に情報が劣化したり、新しい情報の更新を活発に行われなくなる可能性がある。観光客やサイトを閲覧する方に飽きられなく必要な情報を提供できるよう、更新を充実させる必要がある。	アクセス数把握機能を効率的に活用し、サイトを閲覧する方々へ必要な情報の更新を行う。構築したホームページシステムの効果的な活用方法を検討。 更新者等の研修会を行い、システム操作の教育、情報更新の必要性を教育する。

今後の取り組み方針

利用者のニーズに応えた最新の情報等の提供を行うため、各職員に更新の手順等の研修会を行い、積極的なホームページサイトの活用を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,190	26,190	20,952	5,238	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○プロポーザル方式で業者選定の為、妥当だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○プロポーザルでの価格設定は3者見積りにより決定しており、適正な規模と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、完成段階で検査を実施して、本事業の目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	名嘉真区多目的施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部署名	企画課	事業実施 (予定)年度	平成28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	地域と観光客との交流事業及び地域の伝統芸能、各種イベント、各団体活動、また災害時の避難所として多様な活動の拠点施設を整備し、地域の観光振興及び農村漁村の活性化を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	177,920				
		(b) 予算現額	175,652				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,268				
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	175,652				
	B. 執行済額		175,652				
	うち交付金充当額		140,521				
	次年度繰越額		—				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予算額と予算現額の増減については、入札差額の2,268千円を3月補正で減額したものである。当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標・成果目標を鑑みて適正であった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	多目的施設整備工事の実施	目標	(工事の実施)	()	()	()	
		実績	工事の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成27年度までに指定管理者として予定している地元自治会との調整が完了していたため、名嘉真区多目的施設の整備は、目標どおり工事を実施することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度	目標値 (年度)
	多目的施設整備工事の完了	目標	()	(工事の完了)	()	()	()
		実績		工事の完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	名嘉真区多目的施設の整備は、年度内に工事を完了することができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>地域との交流拠点や防災拠点施設としての利用、世代間交流による伝統芸能の継承や観光客等へ体験事業を提供する施設の整備を実施した。</p> <p>今後は、施設を効果的に活用するため、防災訓練や交流事業への取り組みが必要である。</p> <p>村内各地域の特色を活かした事業に取り組み、地域の観光振興及び地域活性化を図る必要がある。</p>	<p>関係機関と連携し、地域の活動拠点としての活用を促進する。</p> <p>農業が盛んな地域の特徴を活かした交流体験や参加型観光事業のメニュー開発に取り組む必要がある。</p> <p>伝統芸能の継承や地域活性化のための活動拠点施設の整備が必要な地域との調整を行う。</p>

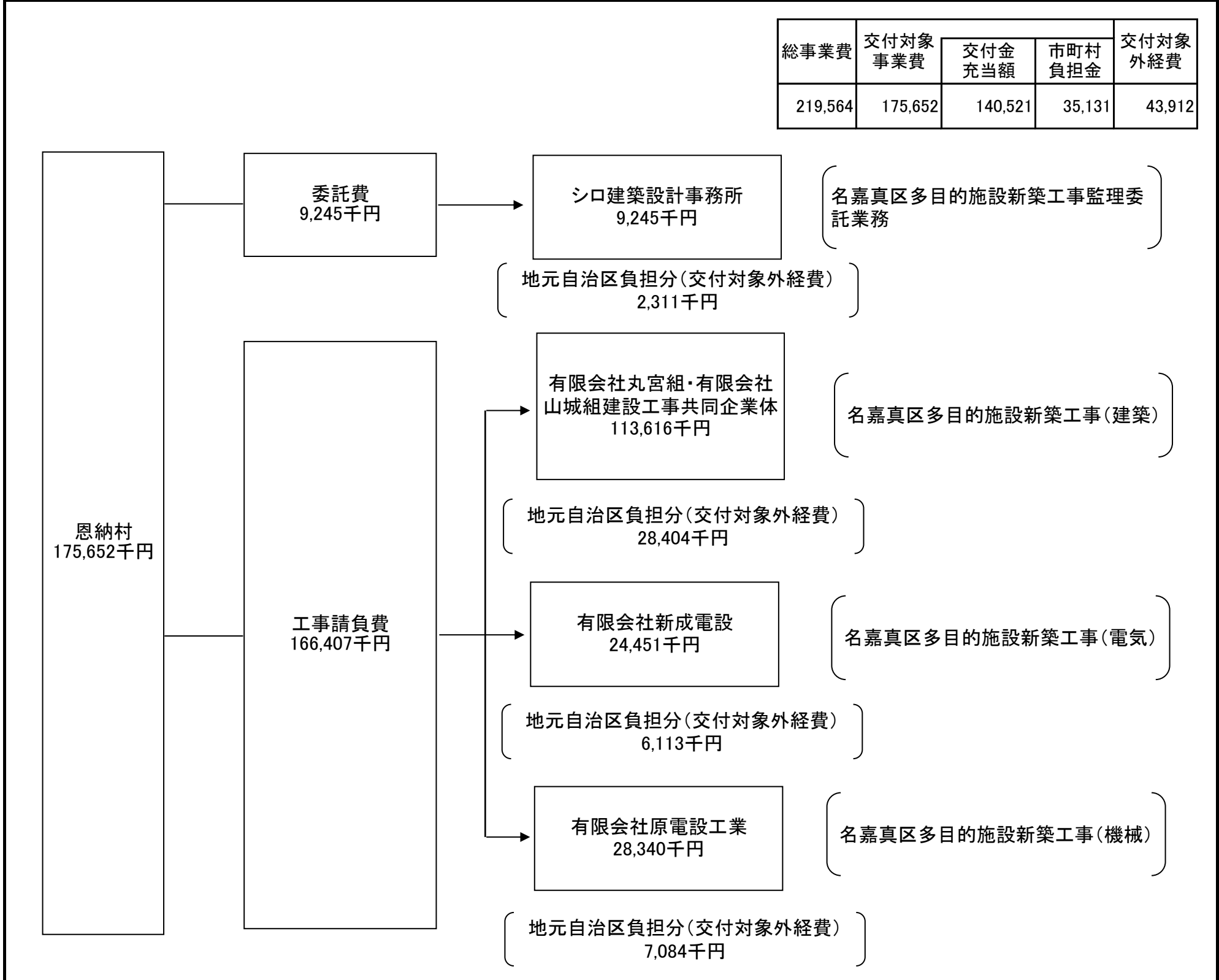
今後の取り組み方針

役場や消防等の公共機関と連携し、防災訓練や避難訓練等を実施することにより、地域住民や観光客の安心・安全を図る。

観光協会等の関係機関と連携し、交流体験や参加型観光事業のメニューの開発に取り組み、地域活性化を図る。

平成29年度から仲泊地区の活動拠点施設整備に向けた取り組みを実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事、委託業者は指名競争入札で選定しており妥当であった。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○入札残による予算の減額はあったものの、適正な規模であったと考える。
○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である地元自治体は総事業費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	万座毛周辺活性化施設整備事業					
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度 平成24~30年度					
事業内容	多くの観光客が訪れる「万座毛」は、施設の整備が行き届いていないため、トイレ、売店、休憩所等の活性化施設及び周辺環境を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,673	-	14,953	-	8,200
		(b) 予算現額	13,673	-	20,000	-	11,000
		(c) 増減額(b-a)	0	-	5,047	-	2,800
		(d) 繰越額	-	13,673	-	14,403	-
		A. 計(b+d)	13,673	13,673	20,000	14,403	11,000
		B. 執行済額	0	12,852	5,597	9,313	9,360
		うち交付金充当額	0	10,281	4,477	7,451	7,488
		次年度繰越額	13,673	-	14,403	-	-
		執行率(%) (B/A)	0.0%	94.0%	28.0%	64.7%	85.1%
予算の状況の説明	想定していた地質と現状が異なったため、設計数量に変更があり2,800千円を増額したが、入札残により1,640千円の不用額が発生した。当初予定していた8箇所の調査はすべて実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	26年度	27年度	28年度	
	活性化施設整備に向けた(土産品店、トイレ、散策道等)の基本設計の実施	目標	(基本計画策定)	(整備方針、利用、運営計画、施設計画等の検討)	(基本設計の実施)	()	
		実績	基本計画策定	整備方針、利用、運営計画、施設計画等の検討	基本設計の完了		
	駐車場施設整備に向けた実施設計の実施	目標	()	()	(実施設計の実施)	()	
		実績			実施設計の完了		
	土質調査業務の実施	目標	()	()	()	(土質調査の実施)	
		実績				土質調査の実施	
	達成状況説明	平成27年度の建築基本設計のなかで実施する予定だったが、関係機関との協議により一部駐車場の場所が変更となるなど、他業務の追加により、土質調査を実施することができなくなった。平成28年度業務として追加し、当初予定していた8箇所のボーリング調査を実施することができた。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度
活性化施設整備に向けた基本設計書の完成		目標	()	(実施計画策定)	(基本設計完成)	()	()
		実績			実施計画策定	基本設計完成	
駐車場施設整備に向けた実施設計図書の完成		目標	()	(土質調査の完了)	(実施設計完成)	()	()
		実績			土質調査の完了	実施設計完成	
土質調査業務の完了		目標	()	()	()	(土質調査の完了)	()
		実績				土質調査の完了	
進捗状況説明		平成27年度繰越事業で建築基本設計及び駐車場実施設計が完了し、平成28年度事業で土質調査が完了した。平成29年度の建築工事実施設計業務及び駐車場整備工事に取り組み、平成32年度の開館に向けて関係機関と調整を図り、事業を実施する。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄を代表する観光地「万座毛」は、土産品店やトイレ等の施設整備が行き届いておらず、また、駐車場が狭隘なことから、観光シーズンや夕陽が沈む時間帯には交通渋滞が発生し、周辺住民の生活にも支障をきたしている。さらには、観光客と車両が混在し、事故が発生しているため危険な状況である。 ・活性化施設の配置等について、指定管理予定者等との協議に不測の日数を要したため、建築基本設計及び駐車場実施設計を平成28年度に繰り越しして事業を実施した。 ・関係機関との協議により一部駐車場の計画地が変更になるなど、法規制許認可業務に時間を要している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画より遅れが生じているが、関係機関との協議等を密にし、円滑に事業を進めていく。 ・課題の一つである駐車場の整備を促進することにより、事故等の危険を回避することができる。 ・建築工事实施設設計業務の年度内完了のため、指定管理予定者等との連携が必要である。

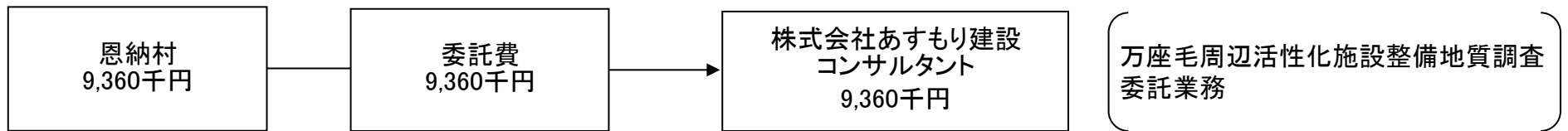
今後の取り組み方針

指定管理予定者等や関係機関との協議に時間を要するため、早期に取り組み、平成32年度の開館に向けた事業実施に取り組む。

駐車場の整備工事の開始にあたり、観光客や事業所等への周知を図り、安全に工事が実施されるよう努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,360	9,360	7,488	1,872	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札で選定しており妥当であった。 △不用額は入札残によるものであるが、予算段階での精査が不足していたといえる。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	防災倉庫整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)		
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成27~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 III-10-(2)		
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いむらづくりを推進するため、災害時に住民・観光客等が避難する場所に防災資機材や備蓄食糧等の生活物資を保管する備蓄倉庫を整備し、防災活動基盤を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	45,581	33,213			
		(b) 予算現額	41,173	33,213			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 4,408	0			
		(d) 繰越額	-	-			
		A. 計(b+d)	41,173	33,213			
	B. 執行済額	40,759	30,736				
	うち交付金充当額	32,607	24,589				
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	99.0%	92.5%				
予算の状況の説明	最終的に2,477千円の不用額が発生したが、工事請負費、備品購入費等の入札残によるものであり、当初計画の事業内容はすべて実施し、活動目標及び成果目標の達成状況を鑑み適正であると考えます。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	①備蓄倉庫の整備3箇所	目標	(2箇所)	(3箇所)			
		実績	2箇所	3箇所			
	②防災資機材の整備3箇所	目標	(2箇所)	(3箇所)			
		実績	2箇所	3箇所			
	③備蓄食糧等の整備	目標	(2箇所)	(3箇所)			
		実績	2箇所	3箇所			
	達成状況説明	防災倉庫等整備設置工事の実施により防災倉庫(3箇所)、防災資機材、備蓄食糧を整備した。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度
①計画数5箇所、平成27年度完了2箇所所平成28年度完了3箇所村指定避難場所における防災倉庫の整備率		目標	()	(40%)	(100%)		()
		実績		40%	100%		
②防災資機材の整備率		目標	()	(40%)	(100%)		()
		実績		40%	100%		
③備蓄食糧等の整備		目標	()	(40%)	(100%)		()
		実績		40%	100%		
進捗状況説明		計画数5箇所のうち、残り3箇所の整備を実施した。また、備蓄食糧も整備したことから、災害時の住民、観光客等の安心・安全を高めることができる。今後は、これらの資機材を使用した防災訓練を行い、有事に備えたい。					

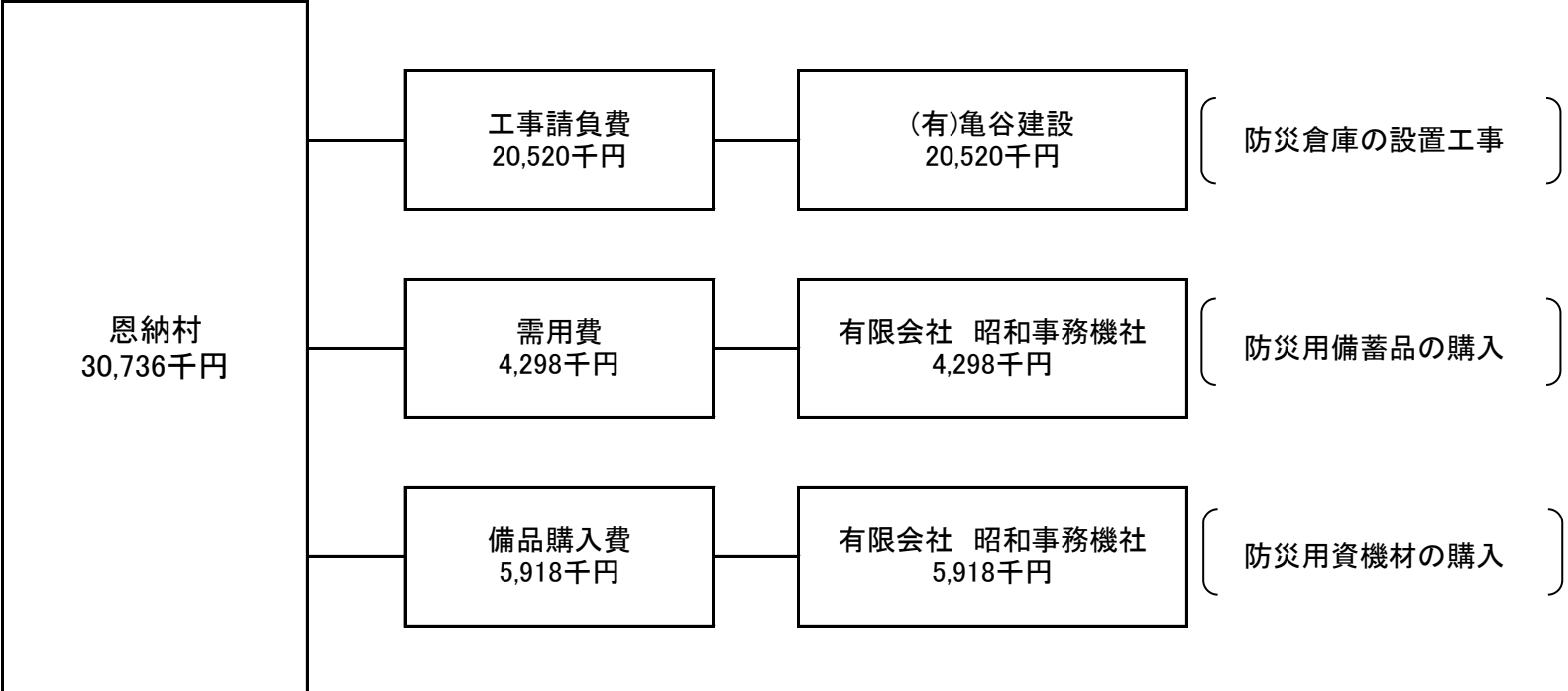
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き定期的な防災訓練を実施し、防災倉庫に備蓄された食糧や資機材の取り扱いについての研修等及び、防災倉庫内の資機材の作動確認等の管理を維持する。 村民を対象とした避難訓練及び防災倉庫の活用について周知を図るほか、自治区ごとの避難経路や体制等について地域ごとの防災計画を作成する必要があると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、村職員や区長また地域団体役員等、資機材の取り扱い等技術等の修得を図り、実際の災害時に迅速な対応ができるよう防災時の体制強化を図る。 各自治区へ防災計画の作成について推奨する。

今後の取り組み方針

引き続き、職員、区長、住民及び関係機関へ防災意識の高揚を推進し、災害に強い安心・安全な観光地づくりを推進する。
各自治区の防災計画作成については、村防災担当職員や防災有識者等が計画策定委員等となり、計画への助言・提言を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,736	30,736	24,589	6,147	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札により選定しており、妥当である と考える。 ○予算規模については、三者見積により積算しており、事業 内容に見合った適正な規模であったと考える。 ○費目・使途については、支出に関する書類により確認し、 適正であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	避難標識等設置事業					
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度 平成28年度					
事業内容	津波等各種災害に備え、住民や観光客の安全対策を講じるため、津波避難場所までの案内標識や避難所等を示す標識を設置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	22,234				
		(b) 予算現額	27,834				
		(c) 増減額 (b-a)	5,600				
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	27,834				
	B. 執行済額		24,859				
	うち交付金充当額		19,678				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		89.3%				
予算の状況の説明		・工事実施にあたり、防災士資格者によるアドバイスの結果、設置場所の変更及び標識数は減となったが、標識の蓄光の輝度を上げ視認性及び強度の向上に伴う変更により5,600千円の増額となった。また現地踏査等により設置箇所の再検討を行った結果、計画数が減となり2,975千円の不用が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	避難経路標識設置 災害時一時避難場所標識設置 災害時避難所標識設置	目標	(設置)	()	()	()	
		実績	設置完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・恩納村全域に避難標識を設置することにより、災害時の避難誘導及び防災意識の向上が図られ、安心安全な村づくりの体制の向上が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	避難誘導體制の確立	目標	()	(体制確立の実施)		()	()
		実績		体制確立の完了			
	避難経路標識設置:90箇所	目標	()	(90箇所)	()	()	()
		実績		82箇所			
	災害時一時避難場所標識設置:40箇所	目標	()	(40箇所)	()	()	()
		実績		22箇所			
	災害時避難所標識設置:25箇所	目標	()	(25箇所)	()	()	()
		実績		13箇所			
	進捗状況説明	・当初、避難経路標識90箇所、災害時一時避難場所40箇所、災害時避難所25箇所の計155箇所に標識の設置を予定していたが、入札前に有識者と設置予定箇所の現場確認を行った結果、夜間時の避難に支障をきたす箇所や土砂災害の恐れがある38箇所が不要と判断したため減となった。 ・避難標識を設置することで、災害時に速やかな避難が可能となり、住民及び観光客の安全対策をすることができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 避難標識等の設置について、住民及び観光客等への周知が必要である。 台風や塩害等に備え定期的な点検及び災害時に迅速な避難が行えるように、避難標識を活用しての訓練・研修が必要である。 避難訓練を定期的に行うことで、避難標識の設置箇所や避難経路に改善すべき課題がないか検証することが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難標識の設置箇所を知ってもらう為、広報活動や研修会等で周知を行う。 避難標識を活用した避難訓練を定期的に行うことで、実際の災害時に迅速な避難が行えるようにする。 避難訓練を通して、避難標識の追加や避難経路の整備等について、各字区長や関係機関と協議する。また、必要に応じて避難場所等の追加も検討する。

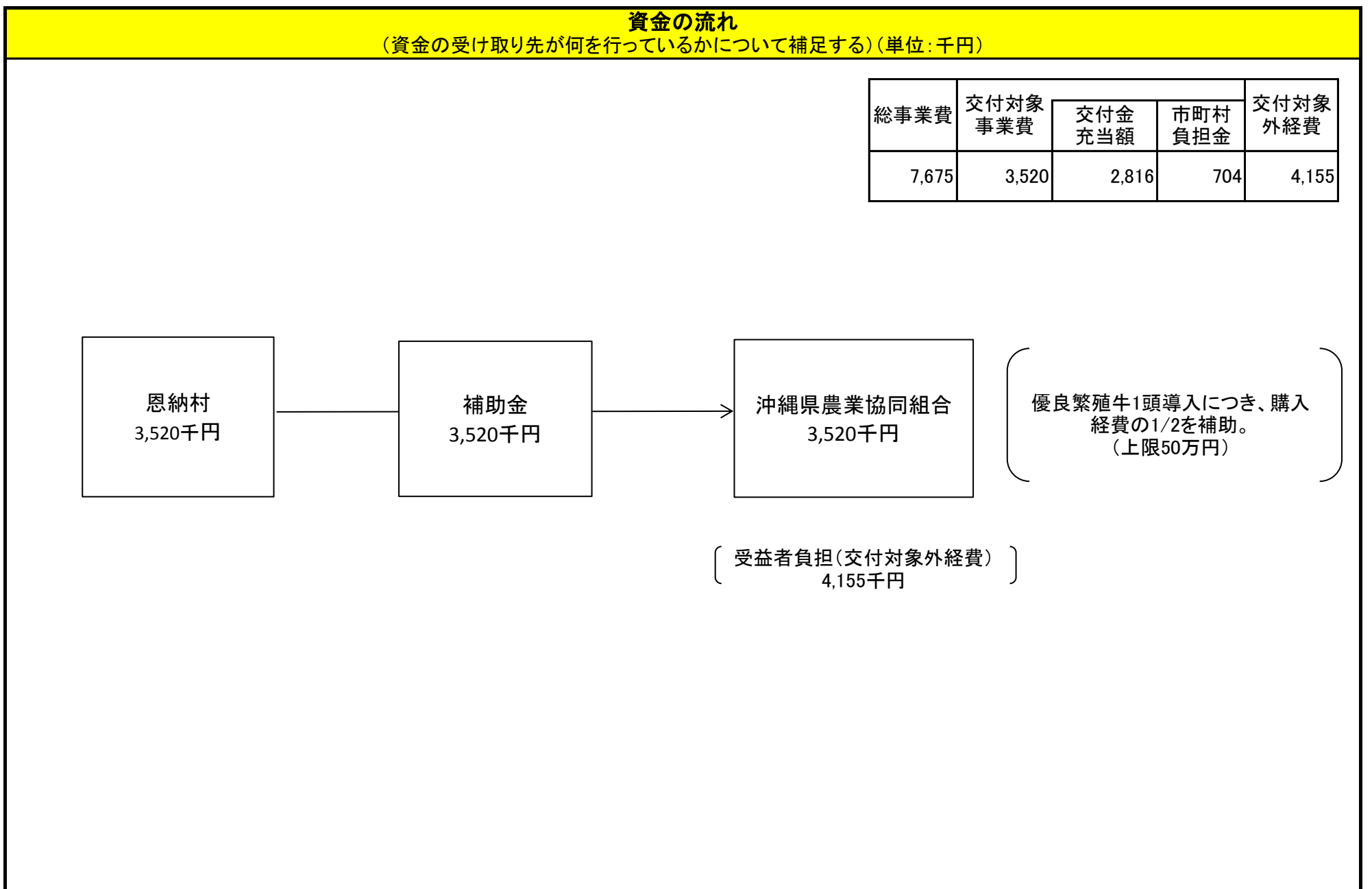
今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 避難標識の設置箇所について、広報活動や研修会等により周知を図る。また、定期的な避難訓練により、住民や観光客へ防災に対する意識の啓発を促し、災害時に迅速な避難が行える体制を構築する。 定期的に避難訓練を行うことで、避難標識の設置箇所や避難経路等の改善すべき課題を洗い出し、避難標識の追加や避難経路の整備及び新たな避難場所の追加など、各字区長や関係機関と解決策を協議していく。 災害に強い安心・安全な観光地づくりの一環として、各リゾートホテルやゴルフ場などの関係機関と津波避難ビル協定を結ぶことで、避難場所の追加を図る。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">24,859</td> <td style="text-align: center;">24,859</td> <td style="text-align: center;">19,678</td> <td style="text-align: center;">5,181</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	24,859	24,859	19,678	5,181	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
24,859	24,859	19,678	5,181	0										
<pre> graph LR A[恩納村 24,859千円] --> B[工事請負費 24,859千円] B --> C["(有)向設備 13,005千円"] B --> D["(有)新成電設 11,854千円"] C --- E["避難標識の設置 名嘉真区～南恩納区"] D --- F["避難標識の設置 谷茶区～宇加地区"] </pre>														

資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○工事請負業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、三者見積により積算しており、事業内容に見合った適正な規模であったと考える。 ○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	優良繁殖牛導入支援事業					
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度 平成27～28年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備					
		沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-1-(6)					
事業内容	恩納村内肉用牛生産農家の所得向上と畜産業振興を図るため、優良繁殖雌牛の導入を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,800	3,200			
		(b) 予算現額	2,917	3,520			
		(c) 増減額(b-a)	117	320			
		(d) 繰越額	-	0			
		A. 計(b+d)	2,917	3,520			
	B. 執行済額		2,836	3,520			
	うち交付金充当額		2,269	2,816			
	次年度繰越額		-	0			
	執行率(%) (B/A)		97.2%	100.0%			
予算の状況の説明		当初予算額から予算現額が320千円増額になった要因は、セリ価格の上昇によるものである。 当初計画していたすべての頭数を導入することができ、活動目標及び成果目標を達成することができたため、適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	優良繁殖牛の導入支援	目標	(7頭)	(支援)	()	()	
		実績	7頭	支援の実施			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初の計画どおりに8頭の導入支援を実施し、H28年度の目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	優良繁殖牛導入頭数:8頭(導入率100%)	目標	()	(7頭)	(8頭)	()	()
		実績		7頭	8頭		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	当初の計画どおりに8頭の優良繁殖牛が導入されたことで、優良繁殖牛から生まれた子牛の販売価格が安定かつ高値で取引され、生産農家の所得向上や経営の安定化に寄与することが期待できる。また、本村産肉用牛の品質向上につながり、産地基盤の強化を図ることが期待できる。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>本村においては、昨年度に当事業により1繁殖牛生産農家あたり1頭の優良繁殖牛の導入を行ったところである。</p> <p>しかしセリ市場においても優良繁殖牛市場価格の高騰が続いており、本村におけるほとんどの生産農家が小規模経営であることから、生産農家の経済的負担が大きく、昨年度と比較して農家負担額も上昇傾向にあるため、生産基盤の脆弱化を防ぎ、生産性の更なる向上を図るためにも引き続き支援を行う必要がある。</p>	<p>1生産農家あたり1頭の優良繁殖牛の導入支援を実施したことで、生産農家の負担が軽減された。</p> <p>今後は、本事業により導入した繁殖牛をもとに、沖縄県農業協同組合等の関係機関と連携し、技術指導等を行うことで、子牛の安定的な生産に向けた取り組みを推進していく。</p>
	<p>今後は、本事業により導入した繁殖牛をもとに、家畜改良協会や沖縄県農業協同組合等の関係機関と連携し、成果の検証を行うためにデータの収集・蓄積及び分析に努めるとともに、飼養管理や技術指導や講習会等により、子牛の安定的な生産と収益の増大に向けた取り組みを推進していく。</p>	



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金交付団体は本事業の交付対象要件を満たす団体であり、選定方法は妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算内で予定頭数を導入できたため、妥当であると考えます。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である繁殖牛生産農家は総事業費の5割以上を負担しており、事業内容や負担割合から判断して適正な額を負担していると考えます。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業費確定時に関係書類を検査したところ、使途は目的に即し、必要なものに限定されていることを確認した。

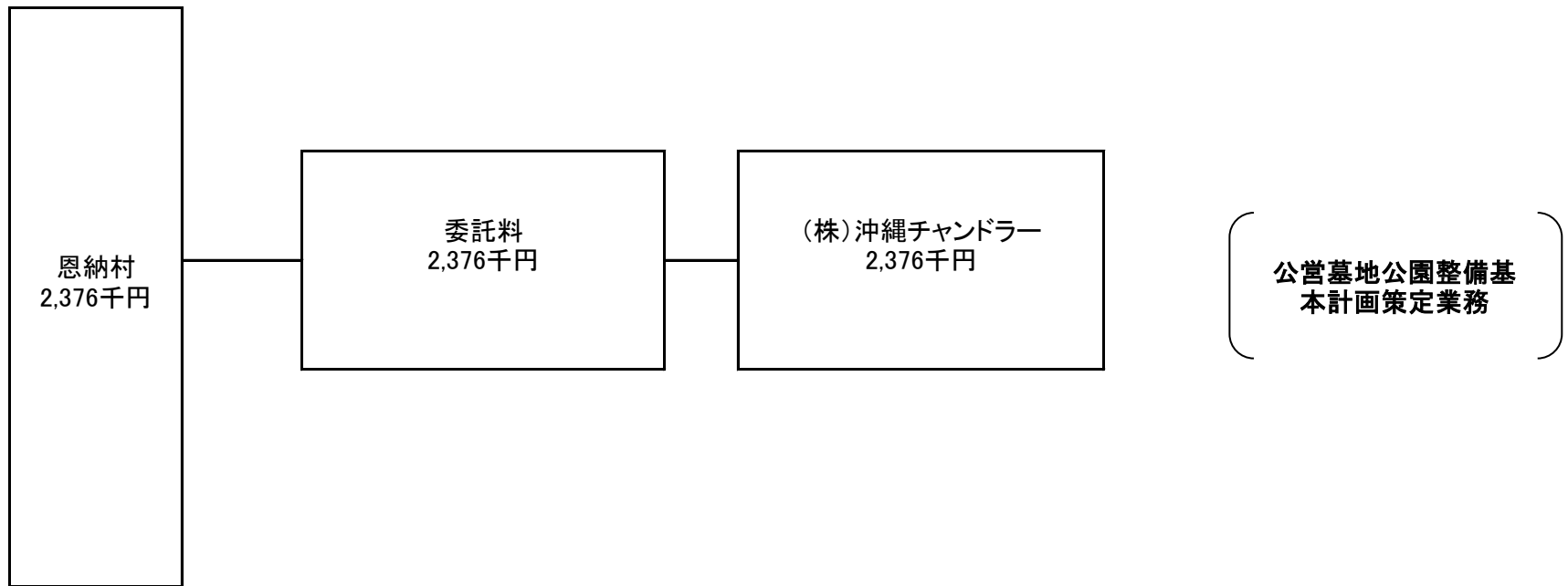
市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	公営墓地整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
担当部課名	村民課	事業実施(予定)年度	平成28~31年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり		
事業内容	沖縄独特の墓地散在化の抑制及び既存墓地の整理集約、住環境の改善を図るため、恩納村墓地公園(公営墓地、納骨堂、駐車場等)を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,484				
		(b) 予算現額	2,376				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 108				
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	2,376				
	B. 執行済額		2,376				
	うち交付金充当額		1,900				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・計画的な予算執行に努め業務を遂行した。 ・減額の108千円は委託の入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	恩納村墓地公園整備基本計画の策定	目標	(基本計画の策定)	()	()	()	
		実績	基本計画の策定完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	納骨堂整備計画 納骨堂の参拝方式の検討、納骨堂の納骨壇の形態方式の検討、納骨壇数の検討、使用期限の検討、使用条件、運営方法の検討を行い納骨堂整備の基本方針を整理した。平面配置計画として、納骨堂エリア、墓地エリア、駐車場エリアの配置計画を作成した。今後は実施に向けて取り組みを行う。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	恩納村墓地公園整備基本計画の策定	目標	()	(計画の策定)	()	()	()
		実績		計画の策定完了			
	公営墓地、納骨堂、駐車場整備基本方針決定	目標	()	(方針の決定)	()	()	()
		実績		方針を決定した			
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	当初目標どおり、恩納村墓地公園整備基本計画および公営墓地、納骨堂、駐車場の整備基本方針を策定することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	集落地域と墓地が混在、近接しており生活衛生、環境保全、景観上などの様々な問題が生じ、更に少子高齢化や核家族化などの社会構造の変化に伴い墓地用地不足や無縁墓地の増加などの問題があり、それらに対応していかなければならない。基本計画に引き続き実施設計を行う予定だったが、完成後は利用者使用料を徴することから、負担金について検討する必要がある。	公営墓地整備については、利用者使用料が発生する為、建設費の縮減に向けて検討を要することから単独予算にて実施設計を行った。事業を効果的に進めるため事業費を精査し、引き続き交付金を活用した事業計画を推進する。また、本計画の趣旨を理解してもらうため広報活動等を通じ墓地の散在化防止対策の周知を図る

今後の取り組み方針
散在化墓地の集約を図り、更に村民が安心して利用できる墓地の確保を目指すため、平成29年度に造成工事を行い、その進捗に併せて納骨堂実施設計、建設工事計画を進める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,376	2,376	1,900	476	0



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当だと考える。 ○不用額は入札残の108千円であり予算規模は適正であった。 ○費目、用途については、完了段階で検査しており事業目的に即し適正であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	恩納通信所跡地活用基盤整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-(イ)	
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成28~31年度		沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備 III-8	
事業内容	恩納通信所跡地において、跡地の活用促進を図るべく、同跡地周辺区域について、跡地利用計画の推進に向けて基盤整備を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		68,372				
			62,340				
			▲ 6,032				
			62,340				
		B. 執行済額	61,927				
		うち交付金充当額	49,541				
		次年度繰越額	-				
		執行率(%) (B/A)	99.3%				
	予算の状況の説明	勢高排水路実施設計業務で当初予定していた橋梁設計の本数を11本から6本へと変更したことにより、契約額が減となり、3月補正で6,032千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	用地取得のための調査業務	目標	(調査業務の実施)	()	()	()	
		実績	調査業務の完了				
	住民説明会の開催(1回)	目標	(1回)	()	()	()	
		実績	1回				
	実施設計の実施	目標	(実施設計実施)	()	()	()	
		実績	実施設計完了				
	達成状況説明	整備に必要な土地に関して、筆毎の相続関係や権利関係の調査を終え、用地交渉の計画を作成できた。 住民説明会では、台風や大雨時の浸水被害を防ぐため排水路拡幅工事の理解と協力を求めた。 又、実施設計において護岸構造を石積護岸としたことで、環境に配慮した観光地にふさわしい計画が策定できた。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度
用地取得のための調査完了		目標	()	(調査業務の実施)	()	()	()
		実績		調査業務の完了			
住民説明会実施(1回)		目標	()	(1回)	()	()	()
		実績		1回			
実施設計完成		目標	()	(実施設計完成)	()	()	()
		実績		実施設計完成			
進捗状況説明		整備に必要な土地に関して、筆毎の相続関係や権利関係の調査を終え、用地交渉の計画を作成できた。 住民説明会では、台風や大雨時の浸水被害を防ぐため排水路拡幅工事の理解と協力を求めた。 又、実施設計において護岸構造を石積護岸としたことで、環境に配慮した観光地にふさわしい計画が策定できた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>平成28年度は用地アセスメントとして、用地取得予定地の権利調査や用地調査、地元精通者等調査など、用地に係るリスク調査を行った。</p> <p>用地取得予定地の所有者71名の内、35名は地上権、賃借権が設定されており、10名は所有者が死亡しており相続が発生している状態である。</p> <p>実施設計後、排水路の構造変更や跡地へのアクセス道等の追加により、用地取得面積が増加した。</p> <p>当該地は自然公園法等、主な規制は無く公共事業を行う上で問題ない。</p>	<p>用地取得を円滑に進めるためには、所有権以外の権利(地上権・賃借権)を消滅させる必要があり、消滅にかかる補償の考え方について土地所有者に理解させるためにも、土地所有者と権利設定者の双方を一堂に会する団体交渉が最善策である。</p> <p>実施設計後、用地取得面積が増えたが、地権者が地区内の方が多く交渉は行いやすい。</p> <p>用地取得を今年度で完了予定しているが、状況を見ながらその都度協議を行い、計画の変更等必要であれば行いたい。</p>

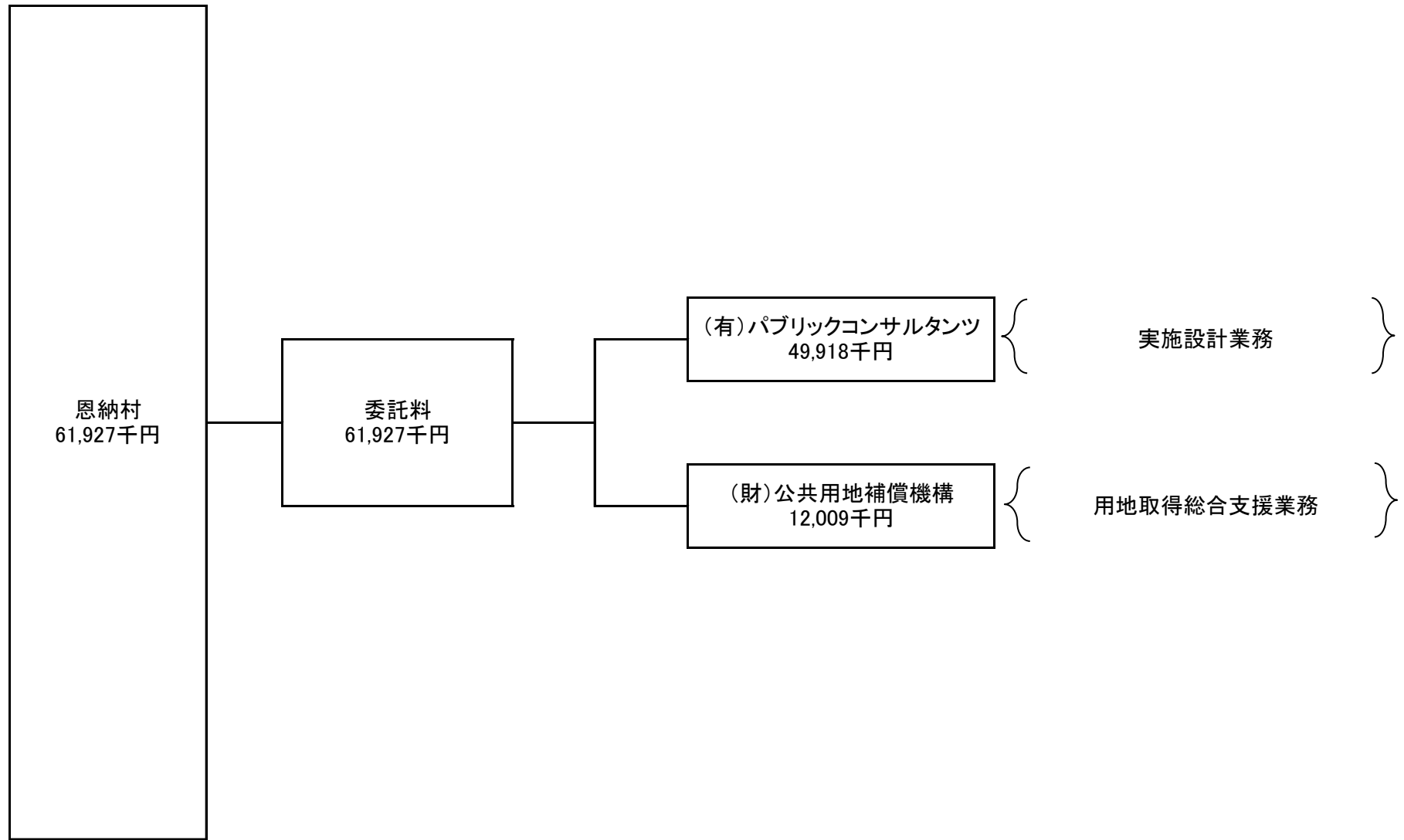
今後の取り組み方針

今後は、事業対象区域を熟知している自治会長や跡地開発事業に関わっている土地管理組合の方と連携し、公共事業としての説明を十分行った上で理解を求め、用地取得を円滑に進める。

又、平成30年度以降改修工事を予定しているが、用地交渉の状況を検証しながら、計画変更についても検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
61,927	61,927	49,541	12,386	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札、プロポーザル選定しており、妥当であったと考える。用地取得総合支援業務については、円滑に事業を推進するためプロポーザルにて選定した。 △設計業務の変更(橋梁本数の変更)により6,032千円の減額が生じた。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要であったと判断した。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	